

# WORKS

## Empower&Energize

No112  
2008/2

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に  
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

### 日本の障害者福祉は先進国 の中では遅れている

名東福祉会 理事長 加藤久和

平成19年12月7日に障害者自立支援法の抜本的見直しに関する与党プロジェクトチームの報告書が出た。3年後の見直し時期を迎えたとしても、とりあえず急速に名東福祉会の経営状態が悪化することだけはなくなった。

だが安心して暮らせるのは早い。報酬単価の見直しが盛り込まれたものの、ケアホームや通所サービスの報酬単価がいくらになるのかについて、はっきりと示されたわけではない。むしろ怖いのは、私たちがこの状況に安住してしまうことだ。

過去8年の間、スウェーデン、デンマーク、イギリス、ドイツ、カナダ、アメリカ合衆国東海岸の施設、オーストラリアの福祉施設を見てきた。同じ先進国でありながら、知的障害者福祉の海外との差異に愕然とする。

カナダのグループホームは定員6名。閑静な住宅街にあって、職員は3名づつ3交代制だった。その法人は24箇所のグループホームを運営しており、利用者の相性が悪いと利用ホームをいろいろと変えることができた。デンマークのフアーラム市では老人

と障害者が同じケアホームに住んでいた。完全にユニット化された8名のユニットが4つ集まって「集合住宅」を形成し、その集合住宅が4棟集まってひとつの施設になっている。全体で105床。そこに地域デイセンターが併設され、地域生活の訓練施設も設置され、相談事業も行っている。給食施設はこの施設群全体に食事を提供するとともに、フアーラム市に住む独居老人にクックチルの弁当を宅配するサービスも行っている。

北欧では効率とQOLを両立させている。日本では地域福祉という規模の小型化・分散化のように考える人がいる。間違っていると思う。

アメリカのワシントン郊外の施設。

作業棟ではパテントを取得したノンズリップ松葉杖の組立作業を行っている。この法人の中には就労前教育を行うアカデミーがあつて知的障害がある人たちが真剣に講習に参加しノートをとっていた。現在ワシントン市内に2000人が就労していて常にアフターケアサービスを受けている。法人の財政をまかなうため、中古車の寄付を呼びかけている。業者と提携し、車を修繕・再販して収益を稼いでいる。これはワシントンの有線テレビネットワークにテレビコマーションを流すま

アメリカは競争社会であり受益者負担の考え方が徹底している国。だから支援費報酬は低くて自己負担でまかなわれていると思つたらそうではない。低所得者向けのメデイケイドとメデイケアという制度があり、実際には日本の支援費単価よりも高い報酬が提供されている。

ドイツの障害者施設は規模が大きかった。キリスト教会が財政をバックアップする。圧倒的な設備、圧倒的なボランティア層によって支えられている。宗教をベースとして、ハンディをもった人たちを支えあうという連帯感に圧倒される。コストを下げるために入所施設を解体して地域福祉に移行するという発想はない。

オーストラリアのメルボルンでは義肢や補助具のフィッティングをしている施設を見学した。何かとローテクではあるが義肢や補助具を用い、工夫をこらして生活の質を高めている。なにごともん気に生活を楽しもうという国。オーストラリアなまりの英語で利用者も見学者に「ナイスダイ(ナイスデイ)」といつてくれる。明るい。工夫できるところはほとんど工夫して自分でできる生活を作り上げていくガッツがいい。世界トップクラスのロボット技術をもつ日本としては、障害者分野にこれを適応するといいいが、その前

にローテクでやれることもたくさんある。

イギリスではケアの質を保つために現場に入って監査が行われる。定型的な提出書類中心の監査だけで「指導」が終わる日本とまったく違う。日本の監査は補助金や支援日報酬の申請内容の検査、利用者との契約内容、施設の設備、職員の配置状況、職員の資格、職員の福利厚生、役員の報酬が監査の中心。要するに申請に不正はないかというのと、経営者が不当に儲けていないかをチェックする。職員は不正がないことを証明するために膨大な書類を作成することに日々追われる。

日本の障害者福祉制度は硬直的だ。障害者自立支援法が廃案になることは望ましいが、過去の硬直した運営を強いられた福祉に戻るのには困る。利用者にとつて望ましいサービスが創意工夫によって生み出されるしくみがないことは、結局、利用者のQOLを低下させる。

## 奈々枝日記

今日はメイトワークス家族会の新年会でした。おいしいお料理がたくさん出て幸せでした。

あいさつのあと、皆さんに何かご希望があったらおっしゃってくださいと

問いかけたところ、

「現在はメイトワークスに通って幸せですが、親が年を取って自分のものでない日が来たとき親ひとり子ひとりではどうすればいいのかわからない。この次は親子で入れる施設をつくってください。」

との意見が圧倒的に多かった様です。親として年を取ったときの不安はみなさんがまだほんとうに若かった30年前からあったように思います。

ただ、そうした施設ができたとしても、みんな自由に入れるということにはなりません。自由に入れる施設は利用料が高く、低料金で快適な施設となると順番待ちでなかなか入れません。それは世の道理です。

将来建設される施設を待つだけではなく、今利用できる手立てについてよくよく目を凝らして見てみることで。名東福祉会を見ればショートステイもあります。ご近所の法人さんいろいろいと門戸が開かれています。親子で入れる老人ホームなんて考えないほうがいいですよ。

「子どもが地域でどうやって生きていくかはいろいろ方法があります。まずはやれるところからいろいろな体験をしていきましょう。もう私(奈々枝)はこれで終わりだと思うので、皆さんのなかから土地を提供したり、建設資

金をためたりして、子どもたちの行く末を何とか形作ってください。」

「私は土地もお金もないので今から福祉士の資格をとって、名東福祉会のお役に立ちたい。」

という人も出てきました。子どもを思う親の気持ちはみんな共通です。小さな願いもみんなが力を合わせればいろいろ新案も出てきます。みんなで未来をつくりましょう。

2008年1月8日

名東福祉会関係の施設家族会の皆様が大勢集まって、私が愛知県福祉協会からいただいた福祉功労賞を祝ってくださいました。各施設の所長も職員を代表して参加し、花束まで贈呈していただけてました。こんなうれしいことは久しぶりです。

実は私はこれまで数々の立派な賞をいただきましたが、いつも障害の子を持つ親としてあたりまえのことをして来て、私だけが賞をいただくのはどうも面映い気がして、いつも賞をもらったことは皆様にはお知らせせずにいました。

このたびは、40年前にお子さんを世話させていただいたお母様からお祝いのハガキをいただき、感動したことを名東福祉会の機関紙「WORK

S」の奈々枝日記に掲載したので、話がパツと広がってこのたびは家族会の主催でお祝いいただくこととなりました。

記念品もいただきました。高齢者にとつて、心まで温まる、暖かなショールでした。ありがとうございます。お祝いをひとりひとりおっしゃってくださったのですが、

「これから、ひまわりのように大輪の花をもう一花咲かせてください」といわれました。私、今年で80歳。レジデンスが最後の最後となる施設と思っていました。もう一花咲かせるとするのは、80歳を過ぎたものにとつて、重いはなしです。

8年前、レジデンス日進を国の補助金で建てようと申請をする直前、心臓が悪くこのままではおそらく1年ほどで命がないと言われました。何をすることも息がきれ胸が締め付けられる、そのとおりでだと思えました。

「もう1年だけ生かしてください。それでまったく悔いはありません。」と心臓手術に踏み切ったときには、レジデンス日進こそ、最後の最後になる施設と思っていました。

ところが、その後も施設の必要性はなくなりません。今度はたけのこの家というまったく新しい意義深い施設が

でき、はたまた楽しいメイグリーンが  
でき、念願のケアホームができる日も  
もうそこまで来ています。私は夢のま  
た夢との思いです。

これでもう大丈夫となるはずだった  
のに、障害者自立支援法はまったく思  
いもよらない法律でした。お祝いを頂  
いた翌日の1月18日、中日新聞に母  
親が知的障害や病気がある息子二人を  
殺害したという記事が小さく載りまし  
た。福祉は戦後60年かけてずいぶん  
進んだかと思つたのに、あまりにも使  
いにくい制度になったので、不安ばか  
りがひろがり、こんなことになるので  
す。私の長男が障害児となった53年  
前とそんなに変わりません。

福祉は充実したというけれども、母  
親はわが子に障害があることを受け入  
れることはつらいのです。前向きに生  
きていくにはどうしても私たち仲間の  
力がいるのです。こんなことにならな  
いように何とかしなければと痛切に思  
います。お祝いをいただいて、大輪を  
咲かせよといわれても、とてもとても  
と思いましたが、私は原点にぐいと引  
き戻されたような気がします。

大輪の花とはいきませんが、野菊の  
ようにささやかで、凜として空を見上  
げる花を咲かせることができたら……  
と思います。

2008年1月18日

## 小児島一郎の支援センター 日記

### ヘルパーによる「たん吸引」 で一考

年末に相談を受けたケースで、ヘル  
パーによる「たん吸引」の必要な方が  
みえて、私自身、初めて調整に関わつ  
た。医療と福祉が在宅で交錯している  
ようなイメージで、興味をもたれる方  
もいるかと思われるので、ちよつとレ  
ポートでも。

この方、当然のこととして24時間  
スパンでの見守りが必要であり、ご自  
身も疾患を抱えるご家族は疲労困憊の  
様子。在宅での家族以外の人間による  
たん吸引は、平成15年に、まずALS  
S患者を対象として、17年にALS  
以外の方々にも対象を広げた形で可能  
となつているのであるが、では平成  
17年以前は一体どうしていたんだろ  
うと、今更ながら思う。

ただ、医療行為であることには変わ  
りなく、デリケートなケアである。一  
般のヘルパー業務であれば、利用者と  
事業所間で契約が交わされれば手続き  
終了であるが、たん吸引の場合は、へ

ルパー個人個人に医師の指示書が出さ  
れ、装置の取り扱いの指導がなされ  
る(多分、実際の指導は、訪看が行う  
ことがほとんどであると思われるが)。  
また、やはりヘルパー個人個人に対し  
て、利用者(家族)が同意書を交わす。

身体介護や家事援助といった一般介護  
業務が、あくまで事業所が前面に出た  
もので、ヘルパー個人はむしろ隠され  
るとの正反対である。同一事業所のへ  
ルパーでも、指導を受けた特定の人し  
かできなくなつており、リスク回避の  
仕組みなのであるが、正直、煩雑さ  
も覚える。まあ、そのような「煩雑さ」  
があつてこそ実現したのであるが。

一旦は緩められて、いるようである  
が、療養型ベッドの削減など、在宅介  
護の流れは、良かれ悪しかれ進められ  
ていくであろう。そんな中、例えば、  
在宅でのたん吸引が必要な方が増加  
していくことは必死である。ただ、受  
入事業所を探していて、実際には、ま  
だまだ実績としては上がっていないよ  
うであることや、構造的・慢性的なへ  
ルパー不足状況を考えると、悲観的に  
ならざるを得ない。

与党プロジェクトチームの報告を受  
けた形で、障害保健福祉関係の主管課  
長会議も開かれたが、相変わらず在宅  
介護系サービスの報酬見直しは、後回  
しの感がある。「施設・病院から地域へ」

とスローガンだけ掲げて金を回さない  
のは、悪質過ぎるのではないか……  
何とかします!!!!

支援Cで関わりをもっている自閉  
症相談者が、突然、過去のテレビコ  
マーシャルをいくつか思い出して、そ  
の本を探しに行くと言う。それも日  
付指定で。例えば、「11月12日に  
1987年の〇〇を探しに行きます」  
とか「1月16日に1992年の××  
の本を見ます」とか。実際にはそんな  
本はないのであるが、放っておくと、  
多分本屋さんに行つて、探し回つて、  
本がないことで不安定になつて、大声  
を上げて店内を走り回るに違いない。  
親御さんとしては、そのことが心配で、  
「何とかありませんか」と相談の電話  
がかかってくる。

いろいろな考え方があると思うが、  
これまでの経緯や家族状況から、何と  
かやり過ぎずという方針を立て、私は  
期日までに指定の画像を探し出し、本  
のようにしたててご本人に持つていく  
こととなつた。ネットで検索すると、  
企業のHPは様々で、いとも簡単に該  
当CMそのものにヒットすることもあ  
れば、過去のものなど探しようのない  
こともある。また、CMには当然、出  
演者がいる訳であるが、それがアイド

ル（候補？もどき？）ともなると、マニアックな方々がマニアックなサイトをもつて、実にマニアックな情報発信をしていることもよく分かった（それは驚きの連続！）。そんなこんなで何とかクリアを続け、最後のCMに先日挑んだ。

キーワードは企業名・商品名・CMの年代、それと登場人物の服装。ご家族の話では「女性二人」「確か、ホットパンツを履いていた」とのこと。「ちなみに、こんな雰囲気です」とも。という訳で、私、一生懸命検索しました。「ホットパンツ」。さすがに朝一から「ホットパンツ」を検索しまくっていると、これも仕事と思いつつも、「オレ、何やってんだ？」って感じ。一歩踏み外すとアールトサイトへ転落というギリギリの綱渡り（いや、片足落ちてたかも・・・）を経て、見事に仕立てました、CM本！

やっぱ、コーディネーターは何でもできなきや？！

余談であるが、今日、二男とナゴヤドームで行われた「親子野球教室」に参加。またまたドラゴンズOBの指導を受けてしまった。何よりも、ナゴヤドームのグラウンドに立てたことに感激！！アドバイスを受けて、自分の球にも球威が出てきたような気がするの  
は、錯覚？

## ご寄付ありがとうございます 平成19年12月26日～1月25日

メイトウ・ワークス

山田敦美様

山田信二様

天白ワークス

奥村與志明様

篠田俊男様

鈴木卓孝様

永宮賢治様

長谷川聡様

阪野しづか様

山田辰己様

はまなす

後藤良昭様

佐知輝敏様

牧公三様

レジデンス日進

家族会様

中埜章代様

## 名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

### ●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

### ●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

### ●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

### ●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

### ●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

### ●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町468-1

TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

### ●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越141-3

TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

### ●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山14番3

TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

### ●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池112-3